

むくのきだより 11月号



令和3年10月29日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

青空の下、全力で頑張った運動会

園長 宮崎 直人

朝晩の風が冷たく感じられるようになってきました。気持ちのよい秋晴れの日には、子供たちは外で元気よく遊んでいます。

さて、10月23日(土)は、すっきりと晴れ渡った青空の下、運動会「あかばねピック」を行いました。子供たちは、とても張り切って、全力で演技や競技を行いました。保護者の方からたくさんの応援をいただいたことで、活気のある運動会になったと思います。ご参加・ご協力をありがとうございました。

今年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックにちなんで、「あかばねピック」という名称で運動会を行いました。最初にゆり組が代表で聖火リレーを行い、聖火台に火を灯しました。この聖火台は、三田地区委員会からお借りしました。三田地区委員会の柳田さんと間瀬さんの手作りです。港区役所にも飾られていました。

聖火台への点火を合図に、「あかばねピック」が始まりました。



年長ゆり組は、フラッグを使ったリズム表現に挑戦しました。動きを大きくきれいに見せるためにはどうしたらよいか、子供たちが考えながら練習してきました。腕を伸ばしたり、友達と動きを合わせたりしながら、繰り返し取り組み、当日はウェーブや隊形移動もかっこよく決まりました。

また、運動会の最後には、年長全員でリレーを2回戦行いました。リレーを走る姿は、とても迫力がありました。どの子も全力で頑張っていて、さすがゆり組だなと思いました。



年少さくら組は、リズム「さくら組応援団」で、ねこまるからもらった赤色と銀色のポンポンを持って踊りました。先生や友達と一緒に、リズムに乗って楽しく踊る姿をご覧いただくことができたのではないかと思います。

かけっこは、ねこまる金メダルを目指して力いっぱい走り、体を思い切り動かす楽しさを感じていました。



子供たちは、運動会が終わってからも、運動会の余韻を楽しむように踊ったり走ったりしています。年長、年少一緒になってそれぞれの学年のリズムを教えあったり、折り返しリレーを楽しんだりしながら、関わりを深める姿が見られています。

運動会の開催に当たり、赤羽小学校の教員も協力してくれました。また、保護者の皆様には、会場の片付け、競技への参加など、様々なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

11月も、芝公園への遠足や品川水族館への遠足、ハンガリー文化の紹介（ハンガリー文化センターにご協力をいただきます。）、剣道教室、太鼓の会、観劇会などを予定しています。今後も、感染症予防に留意しながらも、可能な限り様々な取組を実施することで、ますます教育活動を充実させてまいりたいと思います。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

児童虐待防止推進月間

11月は、児童虐待防止推進月間です。児童相談所への児童虐待に関する相談件数が年々増加の一途をたっており、重大な児童虐待事件が後を絶たないなど、依然として深刻な社会問題となっています。

児童虐待防止法には、虐待行為の内容として、①身体的虐待、②性的虐待、③ネグレクト（保護の怠慢）及び④心理的虐待の4種が定められています。

幼稚園の教職員は、日頃から子供たちに接する立場及び子どもの教育的指導に当たる機関としての立場から、児童虐待の防止等のために適切な役割を果たすよう、早期発見の努力義務や関係機関への通告義務などの役割が課されています。（児童虐待防止法 第5条 第6条）

本園におきましても、児童虐待防止法に基づき、児童虐待があると思われるときは、速やかに港区子ども家庭支援センターや児童相談所等に通告するとともに、関係機関と連携し、対応してまいります。



毎年11月の第一土曜日は『東京都教育の日』

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/kyoiku_no_hi_2.html

東京都教育委員会は、次代を担う子供たちの教育について、都民全体で推進し、都における教育の充実と発展を図るため、毎年11月の第一土曜日を「東京都教育の日」と定め、10月及び11月を「東京都教育の日」推進期間としています。（令和3年度：11月6日（土））